

## 第4学年社会科学学習指導案

月 日( ) 校時  
指導者

### 1 単元 「じまんできる郷土の先人をさがそう」

#### 2 教材化にあたって

佐賀県は幕末・維新時に「佐賀の七賢人」と呼ばれる日本の近代化に大きな業績を残した大隈重信や江藤新平などの優れた人材を多く輩出した。また、辰野金吾や江崎利一、下村湖人など文化や産業の発展に貢献した人材も数多く出している。

こうした優れた人物が、自分たちが生まれ育った郷土にいたことを知り、目を向け、「郷土についてもっと知ろう」「歴史について考えよう」という意欲を子どもたちには持ってほしいと考える。

昨年完成した佐賀城本丸歴史館は、このような人物たちについての調べ活動に非常に適した場所である。子どもたちにとって、自分の調べたい事柄についての資料が豊富にあり、子どもたちがめあてに応じた学習を進めることができる。

実際の活用においては、事前に打ち合わせを密にしておき、歴史館のボランティアなど豊富な人材を児童の調査活動に取り込むことで、深まりのある学習が行えると考ええる。

#### 3 単元の目標

我が国の近代化や地域の文化、産業の発展に尽くした人々の事例を調べて、自分たちの地域がどのように発展してきたのか、また、どんな功績を残したのかまとめようとするができる。 (関心・意欲・態度)

我が国の近代化や地域の文化、産業の発展に尽くした人々が、なぜそのようなことをしたのか、どのようにして成し遂げたのか、今の私たちの暮らしにどのように関わっているのかなどを適切にとらえ、判断することができる。 (社会的な思考・判断)

資料や写真から当時の様子をとらえたり、功績を残した人々の足跡を読みとったりすることができる。

(資料活用の技能・表現)

日本の近代化に尽くした人や郷土の先人の業績や苦勞、努力その願いなどについて理解することができる。

(知識・理解)

#### 4 単元計画(全9時間)

学習課程	主な学習活動	時配
つかむ	各地域に応じた先人のはたらきについて学習する	4
調べる	歴史館へ行って調べる	3
まとめる	調べたことをまとめる	1
伝える	グループごとに発表	1

歴史館

#### 5 本時の目標

日本の近代化や、郷土の発展に尽くした人たちについて調べ、まとめることができる。

6 本時の展開

主な学習活動	教師のはたらきかけ	備考
<p>1 歴史館の中での活動の見通しをもつ。</p> <p>2 グループごとに活動する。</p> <p>3 グループでまとめの作業をする。</p> <p>4 グループごとに発表する。</p>	<p>グループ分けをして、各グループごとに課題を決めておく。 (大隈重信、佐野常民、副島種臣など)</p> <p>各グループにボランティアの方に入ってもらい、指導、助言をお願いする。</p> <p>共通したものを調べる ・時代 ・活躍した場所 ・したこと ・願い ・エピソード</p> <p>調べ活動については、4年生の発達段階を考慮し、歴史的に深く触れたりせずに、興味、関心を大切にしながら調べさせる。(ボランティアの方にもお願いしておく)</p> <p>デジタルカメラ、ビデオカメラなどに記録に必要なものを事前に考え、準備させておく。</p> <p>調べ活動がうまくできていない児童には、個別に指導にあたる。</p> <p>聞き忘れ等があれば、また後からでも調べ直すことができることを知らせておく。</p> <p>聞き忘れなどがあればまた取材ができることをしらせておく。</p> <p>新聞、パンフレット、紙芝居等グループごとに工夫するようにアドバイスする。 ボランティアの方にアドバイスしていただくようお願いをしておく。 写真が必要な場合は準備をしておく。</p> <p>グループごとに発表させ、友達からアドバイスをもらい、今後の活動に活かすように助言する。</p>	<p>探検バック</p> <p>デジタルカメラ</p> <p>ビデオ</p> <p>ワークシート</p> <p>広用紙 画用紙 マジック のり はさみ</p>